（提案書作成様式）別紙

○○　　年　　月　　日

公益社団法人　岐阜県森林公社

理 事 長　　　　　　　　　様

住　　所

商号又は名称

代表者氏名

岐阜県森林公社共同施業企画提案書

**様式・記入例**

経営計画団地名

（仮称 ○○ 　　　 団地）

計画地の所在

　　　　 ○○　市　　　　　字　　　　　　　番　　　　外

１　事業体の実施体制等

　（１）経営方針及び実施体制、各体制構成員の概要

　　　　※実施体制のわかる図式等を添付

　　　　※業務協力体制について、当該予定事業者を記入願います。

　（２）人材育成に関する取り組み姿勢

　（３）正社員で森林整備を実施するうえでの資格取得の状況（建設業登録の有：無）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資格、認定名称 | 人　数 | 備　考 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建設業登録の有：無 | 登録年月日 | 登録番号 |
| 有　：　無 |  |  |

　　　　※木材生産、集材、運搬、森林土木等に関係する取得資格（登録）を記入願います。

　（４）提案する森林整備を実施するうえでの必要な林業機械の保有状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機械機種 | 台　数 | 備　考 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

２　事業体の森林整備事業実績及び公社造林事業実績等（直近３カ年を記載）

・公社事業の受注件数　　　●●件

・公社以外の事業の受注件数　　　○○件

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 年度 | 年度 | 年度 |
| 例）利用間伐 | （　　　）ha  ha | （　　　） ha 　ha | （　　　） ha  　　　　 ha |
| 例）下　刈 | （　　　）ha  ha | （　　　） ha 　ha | （　　　） ha  　　　　 ha |
| 例）作業路開設 | （　　　）m  m | （　　　） m 　m | （　　　） m  　　　　 m |

　　　　※公社造林事業は上段（　　）書、全体は下段に記入願います。

※協力事業者がある場合は、当該事業者の実績を含むことができる。

　　○　○○　　年度の森林経営計画の作成実績

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 団地名 | 認定番号 | 区分 | 集約化率 | 計画作成責任者 |
| 例）〇〇団地 | ○○○○○○○○○○○○○○ | 共同 | ○○％ | 公社太郎 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

　　　　※区分は、共同又は単独を記入する。

　　　　※原則として昨年の作成実績を記入願います。なお、昨年度の実績がない場合は、直近の取り組み計画を記入願います。

○森林公社と共同で森林整備を実施するメリット

　　　例　・公社造林地と隣接所有者を取りまとめて経営計画を進めるにあたり、地域の合意形成を図るため事業計画説明会を実施します。公社造林地の契約者及び隣接所有者の承諾をまとめて取得することで、地域、○○組合・会社及び森林公社が一体となって事業を計画的に進めることができます。

・計画区域内の森林調査や作業路開設に係る踏査、測量及び設計などの準備を前年から計画的に行うことで確実な計画実行に繋げるとともに、弊社にとっても有利となる春先の早期事業着手を目指します。

・作業路開設工事については、各々の集約区域に捉われず面的な広がりを持った視点から、地形や林分構成などから有利となる線形にします。施工は、○○組合・会社の経験豊かなオペレーターが施工します。また、開設事業費については森林公社造林地の区間について負担金を求める形式を提案します。弊社が一貫して施工を行うことで、各々の区域で工事が中断することなく、効率的な作業路開設ができます。

・搬出間伐では、公社と木材の需給動向を共有しながら、山元から出荷先までの搬出コストを考慮し、有利販売に繋がるよう提案します。

・間伐事業で既設作業路を使用するにあたり、土工による軽微な補修（崩土除去）や伐採（支障木）がある場合は、重機運搬にあわせて施工し事業の早期着手につなげます。また、改良箇所がある場合は、事業実施に向け事前に調査し事業化の提案を行い、早期着手や適切な事業実施期間の確保につなげます。

３　企画提案の内容

（１）計画地の所在及び提案の内容

　　　　※計画エリアに設定した理由を記入してください。

　　　　※事業地の位置図、計画図を添付してください。

　　　例１）計画地は林齢４０年生以上の人工林が計画区域内の４０%を占めており、林内踏査の結果、樹冠がうっ閉しており間伐が必要です。間伐木は、保育的な伐採が必要な被圧木もありますが、間伐材として搬出できる立木がありますので、中腹に森林作業道（幅員3.0ｍ、延長約950m）を開設して、間伐材の搬出（期待される材積20㎥/ha）に取り組みます。森林作業道は長期間の使用に耐える仕様で作ります。

　　　　　　間伐により林内への光の配分が高まり、下層植生が豊かになります。土壌の安定や生物多様性などの多面的機能が高い山林になることで、持続した林業経営ができると思います。

　　　例２）計画区域は市町村森林配置計画では環境保全林に位置付けられていますが、現地調査の結果、林内アクセスの条件を整備することで搬出が可能な林層であることを確認したので、路網整備等により効率的な木材生産を提案します。（市町村森林整備計画の変更を必要に応じて行う。）

　　　　　なお、本計画地内のヒノキ林７４ｈａを集約し、対象区域内に標準地を設定。胸高直径、樹高などの調査を実施した結果、林内は全体的に過密な状態で下層植生が貧弱であることが明らかで間伐は必要と考えます。

集材した区域は高密度に路網を開設し、車両系システムの採用と列状間伐により作業の効率化を図り、間伐木の搬出の増加に繋げていきます。

なお、公益的機能の十分な発揮が期待される森林でもあることから、地形に配慮するとともに、集材区域外のエリアについては定性間伐を行い、伐倒木は等高線沿いに伐倒整理することで雨水による表土の流出の防止と地力の向上を図り、公益的機能を維持するよう配慮します。

　　　　　作業システムは、チェンソー（伐倒）→グラップル（集材）→チェンソー・プロセッサ（造材）→フォワーダ（運搬）→スイングヤーダ・グラップル（仕分け・椪積）→６ｔトラック（市場へ運搬）とします。

　　　　　作業道の開設にあたっては、尾根や棚地形の緩傾斜部を活用し作業ポイントや土場を多く設置し作業効率の向上に繋がる線形とする。また、路面水を適切に処理するため縦断勾配を波型線形にするなど工夫し、分散排水のできる構造にします。

　　　例３）今回募集のあった、○○市○○林班区域は、既に弊社が森林経営計画を樹立している地域です。○○　年度に○○市と１０年間の委託契約を締結し、○○　年度に森林経営計画の認定を受けました。現在、この市有林を核に個人所有林を取り込みながら規模拡大を図っているところで、集約区域内の個人所有林で実施予定の路網整備、搬出間伐にあわせ公社事業を計画的に取り込むことが可能です。公社造林地内の木も、利用できる林分のため、搬出間伐を提案します。

また、計画区域内は保安林に設定されています。森林の健全な維持や多面的機能を発揮させる必要があるため、災害に強く、効率的に木材が搬出できる作業道の開設と市町村森林整備計画に基づいた森林整備が必要です。

作業システムは、チェンソー（伐倒）→グラップル（集材）→プロセッサ（造材）→フォワーダ（運搬）１０tトラック（市場へ運搬）とする。作業道は、公益的機能が損なわれないよう計画し、搬出間伐の実施にあたり0.45ベースの林業機械が中心となるため、安全に作業できる幅員で開設します。作業道路面については降雨時に掘削や浸食が発生しないよう木材を使用した横断工を設置するとともに、作業道の勾配を一定にせず波型線形にすることで水を逃がすポイントを作ります。

　当経営計画の実施期間は○○　　年度～　　年度（（３）に記載）で、実施率は現在○○％を実施、最終年度の前年度には計画面積の○○％（過半数以上）を実施予定です。

　（２）作成責任者：

　　　　　森林施業プランナー等関係研修受講及び取得歴：

　　　　※作成責任者が森林施業プランナー研修を受講している場合は、森林施業プランナー関係研修受講歴等に当該研修の名称、受講年度を記入願います。また、岐阜県森林経営プランナーとして登録されている場合も登録証番号を記入願います。

例）岐阜県施業プランナー養成基礎研修　　○○　　年度受講

　　岐阜県森林経営プランナー登録証番号１４

　○級土木施工管理技士　番号○○○○○○○○

　（３）森林施業に関する計画

○施業計画 　　　　　　　　単位：ha、m、m3

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施業名 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 合　計 |
| 例）利用間伐 | （7.00）  15.30 | （　　）  10.20 | （　　） | （　　） | （　　） | （7.00）  25.50 |
| 例）作業路開設 | （800）  1900 | （　　）  500 | （　　） | （　　） | （　　） | （800）  2400 |
| 例）作業路補修 | （1000）  2000 | （　　）  500 | （　　） | （　　） | （　　） | （1000）  2500 |
| 例）森林整備の計 | （7.00）  15.30 | （　　）  10.20 | （　　） | （　　） | （　　） | （7.00）  25.50 |
| 例）基盤整備の計 | （1800）  2900 | （　　）  1000 | （　　） | （　　） | （　　） | （1800）  3900 |

　　○事業費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：千円

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施業名 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 合　計 |
| 例）利用間伐 | （1,564）  3,658 | （　　）  2,550 | （　　） | （　　） | （　　） | （1,564）  6,208 |
| 例）作業路開設 | （3,600）  7,980 | （　　）  2,150 | （　　） | （　　） | （　　） | （3,600）  10,130 |
| 例）作業路補修 | （500）  1,000 | （　　）  300 | （　　） | （　　） | （　　） | （ 500 ）  1,300 |
|  | （　　） | （　　） | （　　） | （　　） | （　　） | （　　） |
| 計 | （5,664）  12,638 | （　　）  5,000 | （　　） | （　　） | （　　） | （5,664）  17,638 |

※公社造林事業は上段（　　）書　、全体は下段に記入願います。

※作業道等基盤整備を計画する場合は、路線計画図を添付願います。

※作業種毎に色分け区分した図面を添付願います。ただし、実施年度については、未確定の場合は記入しなくても構いません。

　　　※図面の縮尺は任意としますが、簡潔明瞭に表示願います。

　　　※事業費は、施業計画に対する見積金額を記入願います。

　（４）森林経営計画書（案）

　　　次の計画様式は、森林経営計画運営マニュアルを参考に作成してください。

☞岐阜県　林政部　森林整備課　平成27年12月版

一部様式変更あり　森第933号　平成29年3月9日付け通知

　　　（ア）森林の現況及び伐採計画等（別記第2号様式）

　　　（イ）森林経営計画図の作成イメージと凡例（マニュアルP215）

　　　（ウ）森林経営計画概要表　兼　実行管理表（別記第6-1、6-2、6-3号様式）

（５）提案事業地に対する見積

本企画提案における公社造林地の間伐事業費及び事業収益

　　　　※間伐事業の計画がない場合も、参考までに事業費内訳表を添付願います。

　　（ア）事業費内訳表

○ 単価表に基づく見積作成にあたっての変動要因

　　　　　　（例）人件費は、○○の単価により変動する。

　　　　　　（例）燃料費は、実施年度の４月単価による。

○ 間伐事業費（生産費内訳）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事　　業 | 搬出材積　㎥/ha | 事業費　円/ha | 備　考 |
| 利用間伐 | 例）３０ | ○○○，○○○ | Ａ箇所 |
|  |  |  |

　　　　※事業費内訳表を添付願います。

　　　　※間伐事業計画が複数年に渡って行われる場合は、作業種ごとに色分けした図面へ箇所番号等を記入願います。

（イ）作業システム

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 作業型 | 傾　斜 | 集材距離 | 作 業 シ ス テ ム |
| 例）車両系 | 35°未満 | 0～25ｍ | （伐倒）→（木寄せ）→（集材）→（ﾄﾗｯｸ6積載）  ﾁｪﾝｿｰ　ｳｲﾝﾁ付ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙ　ﾌｫﾜｰﾀﾞ　　ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙ  【労働生産性　　○．○㎥/人日】  【素材生産費　　○○○○円/㎥】 |

　　　　※計画エリアにあった作業システムを記入願います。

　　　　※間伐事業がない場合も、提案林業事業体の標準的な作業システムを記入願います。

　　　　※地形傾斜、木材生産、集材、運搬までを考慮した工程を記入願います。

　　　　※労働生産性は、当該事業体の平均値を記入願います。

※素材生産費は、選木から販売先までの運搬を計算してください。

　　（ウ）流通システム・費用

　　　　製品販売方針の概略を記載

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 例）Ａ材 | 例）Ｂ材 | 例）Ｃ・Ｄ　材 | 備　考 |
| 販 売 先 |  |  |  |  |
| 輸送距離 | km | km | km |  |
| 運　　賃 | 円/㎥ | 円/㎥ | 円/㎥ |  |
| 手 数 料 |  |  |  |  |
| その他費用 |  |  |  |  |

　　　　※運送距離は片道の距離を記入願います。

　　　　※県森連ネットワークセンターを利用の場合は、販売先へ「ネットワーク」と記入願います。

　　　　※独自の販売ルートがある場合は、その旨を記入願います。

○ 共通基盤整備に要する費用

　　　　※作業道等基幹道開設に伴う事業費負担及び補助残負担割合について具体的に記入願います。

　　　　※公社から民有林等を通じる作業道等の開設など、共通の施設を設置する場合を想定しています。

※公社が負担するのは、県が示す査定事業費の公社負担分を上限とします。

〇 その他

　　　　※利用間伐事業を実施するに当たっての、推進体制その他特記すべき事項を記入願います。

　　（エ）保育事業費

|  |  |
| --- | --- |
| 事　業　名 | 標準的な事業費 |
|  | 円/ha |
|  | 円/ha |
|  | 円/ha |

　　　　※本企画提案のエリアにおいて計画する事業の平均的な事業費を記入願います。

（６）認定の取り消し等の対応について

認定森林所有者等が森林経営計画に従わず、認定の取り消しとなり、補助金適化法に基づく補助金の返還となった場合は、認定の取り消しの原因となった者が返還する。また、森林経営計画に係る特例措置が不適用となる場合も、原因となった者が返納等を行う。

　（７）その他

　　　　※事業推進に必要な事項を記載